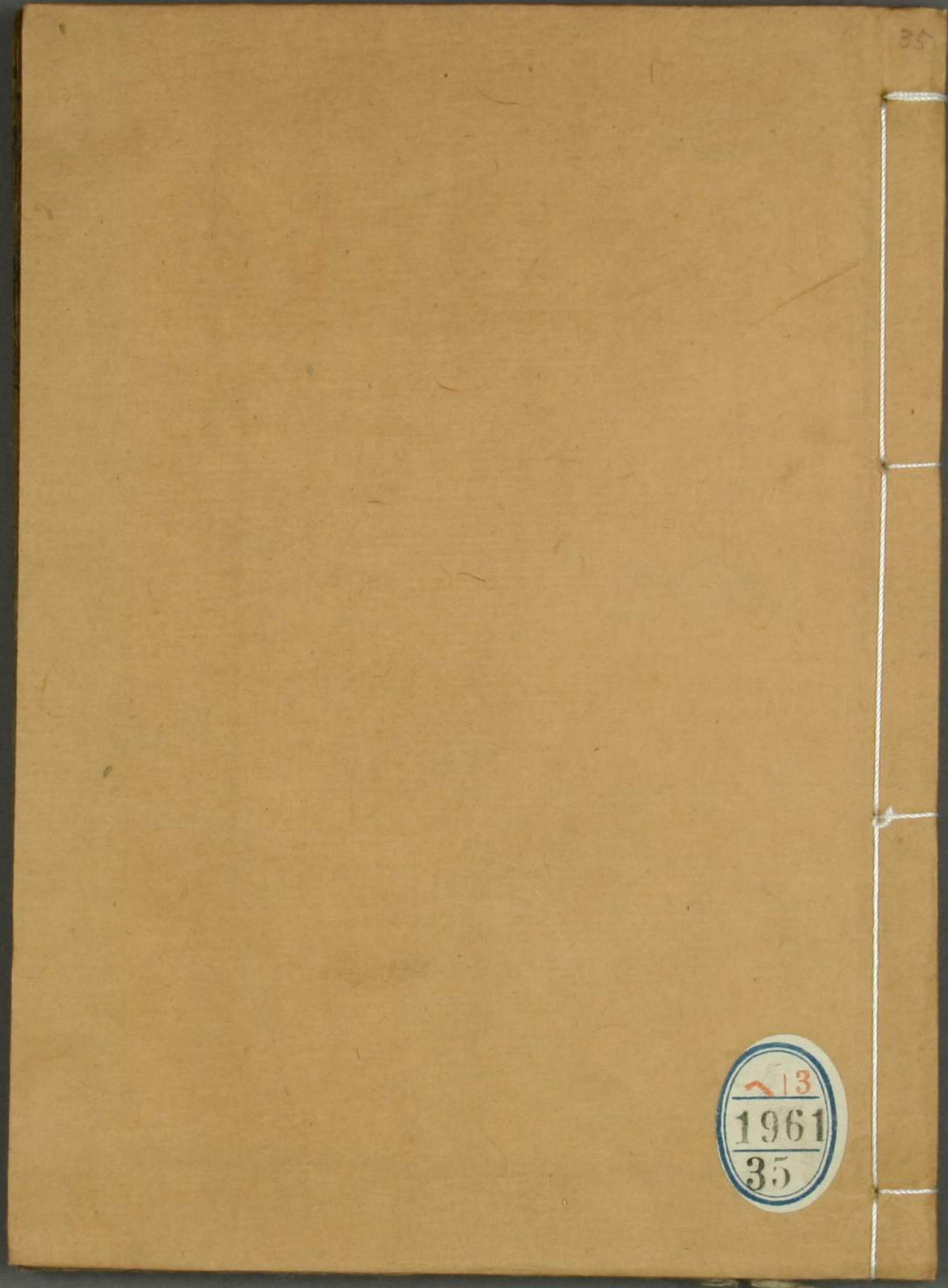


# KODAK Gray Scale



13  
1961  
35

35



寛政三年  
三月  
廿一日

京傳戯作

通油町葛屋板

不憎  
不憎  
不憎

亥春  
新鑄  
箱  
人  
想  
圖  
屋  
不  
鑿  
平



遠  
11

1961  
35

箱 煉 面 瀧 形

まゝめあゝ  
口上

まゝめあゝのつてらるゝ一足せの縁母のく様法ひるきあゝ  
 日はしんてんしやうはあゝのくきけ合をんーまゝめ  
 相作共承傳中のいゝ今まてりうをあゝ  
 つまき裁さく仕りけらるゝまゝめ  
 毎うのむあまきのりふ日月地まゝ  
 り着法をけいけりるまゝめ  
 とつひのいゝはま其るまゝめの中い  
 おしんてんしやうまゝめけりるまゝめ  
 これらまてらるゝ當年よりけりるまゝめ  
 熟化おあまのちしつゝりかゝまゝめ  
 とつひのちのちまゝめあゝあゝあゝあゝあゝ  
 日しんてんしやうまゝめひおあゝあゝあゝあゝ  
 あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ  
 承傳も各しきちのりらるゝあゝあゝあゝあゝ  
 とんしすけをけりるまゝめあゝあゝあゝあゝ  
 まんてんしやうまゝめあゝあゝあゝあゝあゝ  
 のよゝまゝめあゝあゝあゝあゝあゝあゝ



寛政このまゝのまゝめ

板元 廿五唐丸

かのり長のめがかり  
 のはつや、川のまがれ  
 のあふあふ、よもぎ  
 うらうらうらうらうら  
 きんぐらむすびて久し  
 建磨縁八舟のせうふるま  
 らんせいの今ふらふら  
 めらやどもちがひやく  
 あてるさる、ころもひやく  
 せんちもやうひやく  
 しやうらふちいせとらうせのあちと  
 ありのぞきうらうらうら  
 たやこれとさあぐさ  
 くのありさあぐさ  
 正のありさあぐさ  
 本のくさのふまでめん  
 ぶんせありかすも  
 ぶんのあしあし  
 かこくあしあし  
 作のあしあし  
 あちやな  
 まつらひあち  
 ふまのいあち

◎土弓



猪八人之流  
 海馬曲流

土弓



かのり長のめがかり  
 のはつや、川のまがれ  
 のあふあふ、よもぎ  
 うらうらうらうらうら  
 きんぐらむすびて久し  
 建磨縁八舟のせうふるま  
 らんせいの今ふらふら  
 めらやどもちがひやく  
 あてるさる、ころもひやく  
 せんちもやうひやく  
 しやうらふちいせとらうせのあちと  
 ありのぞきうらうらうら  
 たやこれとさあぐさ  
 くのありさあぐさ  
 正のありさあぐさ  
 本のくさのふまでめん  
 ぶんせありかすも  
 ぶんのあしあし  
 かこくあしあし  
 作のあしあし  
 あちやな  
 まつらひあち  
 ふまのいあち

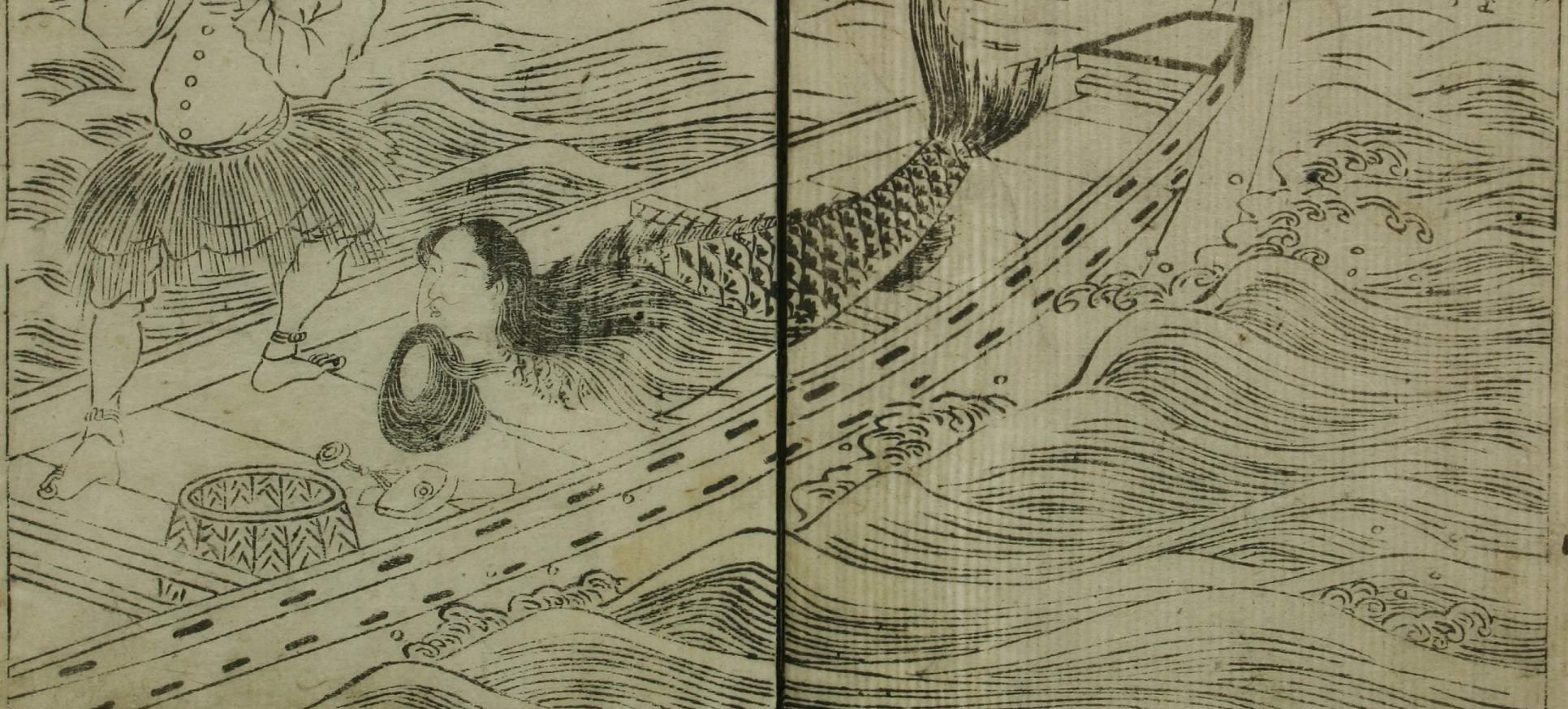




ちろちろとていとの八丁がりの  
 なれんがりの口の五つめと  
 のりのわりのついでにたまつたま  
 りきこいあいでらりしりりり  
 あるまきもあまの川はまにあて  
 うまよごころまき世に女の  
 せいのぬのねすへまじりこ  
 ぬるむしやくくくくくく  
 さい  
 まき

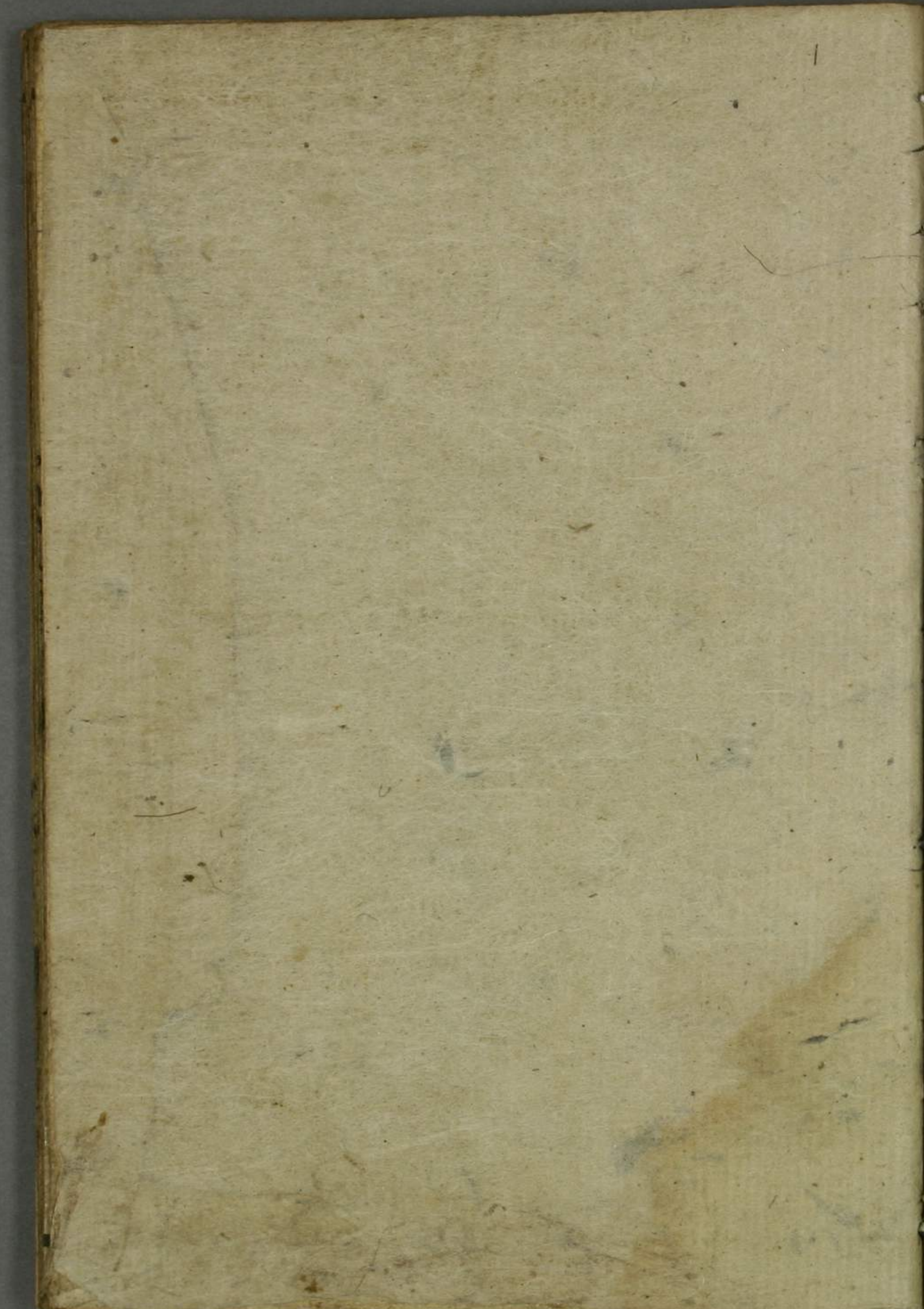
せい  
 これいこれいの  
 こいののなつた  
 てまきこころまき  
 けしあまのなつた  
 せいのぬのねすへ  
 まじりこ  
 ぬるむしやくくく  
 くくく

つるがかりのまきこころまき  
 せいのぬのねすへまじりこ  
 ぬるむしやくくくく  
 くくく  
 せい  
 これいこれいの  
 こいののなつた  
 てまきこころまき  
 けしあまのなつた  
 せいのぬのねすへ  
 まじりこ  
 ぬるむしやくくく  
 くくく



上の中のそくがらどしもてりあど  
 るもあしひくひらく  
 ちうちうあしひくひらく  
 あしひくひらくひらく  
 ちうちうあしひくひらく  
 あしひくひらくひらく  
 ちうちうあしひくひらく  
 あしひくひらくひらく  
 ちうちうあしひくひらく  
 あしひくひらくひらく

ちうちうあしひくひらく  
 あしひくひらくひらく  
 ちうちうあしひくひらく  
 あしひくひらくひらく  
 ちうちうあしひくひらく  
 あしひくひらくひらく  
 ちうちうあしひくひらく  
 あしひくひらくひらく  
 ちうちうあしひくひらく  
 あしひくひらくひらく





うたてよと申して万大あらまつてふと  
 仏様ももつとぞくこれのくを押しうり  
 つかうもよけのうまはこひけまふそ  
 おくこそそ人魚とまじりゆくしとぞく  
 かしやう洋のうたてよと申して手ひらき  
 つかうもよけのうまはこひけまふそ

いそ手二人魚をせうりうりて海女の  
 くるりに二枚やんすこまてまてこの  
 ままにんくかひんまきり  
 きり無さひて二枚ののしあひ  
 こそんよれどもそ二つうま  
 せまてあやうら世の人魚を

至欲ん東へふるふりぬ  
 ちりざりしがやうりく  
 といざりあやうりうま  
 ぞつてきてんこせら  
 これん東と  
 金魚の  
 まちうらう







かたもものていこうものすめれらうりのほろち  
ふいさくいのわらわてほんいついよはなまの  
ふいば七敷二分でかいたる

人魚の一回の  
ふまふまふとんと  
ふまふまふとんと  
ふまふまふとんと

まふまふとんと  
まふまふとんと  
まふまふとんと



大いそのや  
まふまふとんと  
まふまふとんと  
まふまふとんと

あまの  
あまの  
あまの  
あまの

かたもものていこうものすめれらうりのほろち  
ふいさくいのわらわてほんいついよはなまの  
ふいば七敷二分でかいたる

























